



2024年8月5日発行
＝編集/発行＝
〒791-0393
東温市南方 281-3
東温市福祉館
Tel & Fax
966-3306

今月号の目次



- 第22回全国隣保館女性職員研修会・第35回四国ブロック隣保館女性職員研修会
- 第71回四国地区人権教育研究大会

- ふくしかん書籍のご案内
- 今月の行事予定



第22回全国女性職員研修会・第35回四国ブロック隣保館女性職員研修会

令和6年7月25,26日 愛媛県県民文化会館



「地域共生社会の実現を隣保館から」～差別の現実から深く学ぶために～をテーマに、すべての隣保館職員の資質向上を務めるとともに、女性職員として何ができるかを再確認することを目的とし、愛媛で初めて全国女性職員研修会と同時開催になりました。

1日目の開会行事後、「もっとあたたかい人の世を～水平社創立の思想を未来へ～」の演題にて、水平社博物館館長 駒井忠之氏による記念講演がありました。水平社の歴史や、先人の思い、水平社の「綱領」・「宣言」・「則」「決議」に込められた理念と思想を詳しく説明され、水平社が求めた部落解放とは、部落民だけではなく「あらゆるアイデンティティが肯定される社会」の実現を目指したもので、のちにアイヌ民族他、外国にも注目され認められていること等を話していただきました。

次に全体会事例報告にて、徳島県、高知県、全国からの3名による事例報告がありました。徳島県は、地区の住民が、センター・NPO・児童館・学校・各種団体と連携し、共に活動するまちづくりを推進していること。高知県は、一組の家族との関わりから地域の方々の協力や色んな関係部署等との繋がりにより時間はかかったが問題解決した事例。また大阪府は館の広報戦略として、館から発信する様々な紙や市SNSを通じた情報をブラッシュアップし、市民の目に触れる機会の増加が来館者の増加に繋がるかを発表されました。3府県ともそれぞれ違う視点でしたが、館を利用する地域住民のことを第一に考えた活動をしており学びになりました。



2日目の第2分科会は、「高齢者とのコミュニケーションについて～傾聴と上手な声掛けの仕方～」と題し、愛媛県在宅介護研修センター長 金田由美子氏のワークショップに参加しました。高齢者身体機能や認知機能の低下を理解し、残された機能を使うことにより、自尊心・プライドを傷つけることなく、人としての尊厳をもって生きていくことができる工夫を実例を交えていただきました。会話の方法は、高齢の来館者の対応にも通じるものも多く、最後は車いすの実技を全員で行い、満足度の高い分科会となりました。

これからの隣保館のあり方や地域とのつながり方を再確認することができた研修会となりました。

第71回四国地区人権教育研究大会

令和6年7月4,5日
高知県立県民文化ホール



大会初日は、四国各地から約2000人の参加がありました。開会行事の後、全体会で四人教大平事務局 長からの基調報告があり、「1954年徳島で産声をあげた本研究大会は、四国4県の連携を深めながら、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決と人権確立をめざして、研究と実践を積み重ねてきた。そしてこれからも一人一人が差別をなくす当事者として同和問題をはじめ、さまざまな人権問題に向き合う姿勢と、自身の立つべき位置、成すべき行動、めざす方向性を確認しあう大会を創りあげて行こう」と語られました。続く記念行事では、夜間学習会 Nika「きょうも机にあの子がいない」の群読の他、「解放太鼓」の演奏、「よさこい演舞」が披露されました。

2日目は、第4分科会人権確立をめざす地域の教育力A分散会に参加しました。特に印象に残った実践報告が、香川県東かがわ市の「人権啓発推進委員とともに進める人権研修事業」で、当市には人権啓発推進委員協議会設置条例に基づき委嘱を受けた委員が活動している市独自の組織があり、コロナ禍により講演会等が中止となっていた当時、委員と人権推進課職員が市職員の人権に関するスキルアップを図るための効果的な研修について協議を重ね、少人数・参加型研修を導入した事例が紹介されました。報告の最後に、今後の展望として推進委員との取組を民間企業や子育て世代などの交流研修、小グループの人たちとの座談会などへ広げ、さらには他市町との人権教育や人権活動のグループと交流を持ちたいと考えており、これからも推進委員と試行錯誤を繰り返しながら、前向きにしっかりと考える市民や民間企業の仲間を増やしていきたいと締めくくられました。



ふくしかん 書籍のご案内

じぶんだけの いろ

いろいろ さがした カメレオンの はなし

レオ=レオニ
訳 谷川 俊太郎



好 学 社

じぶんだけの いろ

いろいろ さがした カメレオンの はなし

かわいそ^うなカメレオンはひと^ひつの悩^{なや}みを持^もっていました。
「どうして他^{ほか}の動物^{どうぶつ}のよう^{よう}に、自分^{じぶん}の色^{いろ}がないの^のだろう
か？」行^いく先^{さき}々^{まわ}、周^{かんきょう}りの環^{いろ}境^かで色^{いろ}が変^かわってしま^いう…。
春^{はる}になっ^て、彼^{かれ}はすばらしい答^{こた}えを見^みつけま^す。
自分^{じぶん}の色^{いろ}にこだわ^てっていたカメレオンが考^{かんが}え方^{かた}を変^かえ
るこ^ことで幸^{しあ}せにな^る、発^{はつ}想^{そう}の転^{てん}換^{かん}に、はっ^ととさせられ
ま^す。子^こどもにも大^お人^{じん}にもおす^いすめの一^{いっ}冊^{さつ}です。
(出版元 HP 他より抜粋)

今 月 の 行 事 予 定

日	曜日	行 事
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	子育て支援「すくすく」(市社協)10:00～, 健康体操 19:00～
7	水	
8	木	
9	金	小学生対象工作教室 13:30～
10	土	
11	日	山の日
12	月	振替休日
13	火	
14	水	行政相談(市総務課) 13:00～15:00
15	木	

※来月の登山教室 9/22「王頭山」

日	曜日	行 事
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	健康体操 19:00～
21	水	
22	木	福祉館じんけん相談 19:00～21:00
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	健康体操 19:00～
28	水	各種相談 10:00～16:00
29	木	
30	金	
31	土	登山教室「横倉山」

福祉館のご利用について

執務時間 8時30分～17時00分
休館日 土・日曜・国民の祝日及び
12月28日から1月4日

ご利用他、各種お問い合わせはこちらまで

☎966-3306

※場所は、川内支所の
道路向かいです。



福祉館の相談事業

福祉館は、人権・同和問題を一日も早く解決し、みんなの力で
差別のない明るい社会を築くために建てられた施設です。
生活上の各種相談や人権相談など困ったことがございました
ら、お気軽にお越しください。もちろん、プライバシーは十分
留意しております。上記行事予定の定期的な相談日以外で
も、常時相談を受け付けておりますので、
人権・職業・教育・福祉などお困りの
方は、電話・来館どちらでも受け付けて
おります。

